

清流 ニュース

発行所
〒192-0904
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jp.org/

令和6年度総祈願

本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加
日序上人御廿七回忌・日堯上人五ヶ年報恩ご奉公
寺内・境内整備ご有志奉納推進 工事無事着工
甲乙御講席主・願主増加・共連れ参詣促進ご奉公体制再構築
お助行御法門聴聞励行・教養会内容充実・役中後継者養成

三月の御総講日

| | |
|---------|--------------------------|
| 一日 十時 | 御修行日 |
| 七日 十時 | バーズデー総講 |
| 十三日 十時 | 高祖御命日 |
| 十七日 十時 | 開導御命日 |
| 廿五日 十時 | 門祖御命日 |
| 十二日 十時 | 於 清流寺 高祖御逮夜 |
| 十六日 十時 | 開導御逮夜 |
| 廿四日 十時 | 門祖御逮夜 |
| 廿日 十時 | 於 羽村別院 歡尊御命日 晨尊御逮夜 |
| 一日 御総講後 | 役中会議 |
| 廿日 午後一時 | 参事会 |
| 廿五日 | ブロック長会議 |

三月二十日・本寺、廿四日・羽村別院 春季彼岸会総回向奉修

寒参詣も終り、二月廿五日には、本年度の門祖会も無事に奉修されました。

早や三月、春のお彼岸の季節となり、地球温暖化の影響で、桜の開花も早いと報道されています。今月の十七日から、春季彼岸会に入ります。本年は、うるう年のためにお中日は、三月廿日

盆にお墓参りをする人が多く、彼岸会の意味がそこなわれています。彼岸会は、先祖の御霊に安らぎを捧げると共に、仏道修行に励むという事を銘記することが大事といえます。

当宗では、常盆、常彼岸と申して、朝夕のお看経で、ご回向をしておりますが、このお彼岸の時期には、ことさらご先祖への報恩をこめて、お塔婆の建立にも志を厚く申し込みをいたしましょう。

平松信応師ご帰寂

二月三日深夜急逝される 二月十日通夜 十一日告別式 しめやかに執行されました。

既報のとおり、当山教務部で十余年に亘り、ご奉公された平松信応師は、去る二月三日、突如として帰寂されましたことは、清流寺にとり、まことに痛恨の極みであります。謹んで、哀悼の意を表します。

同帰亭要語録

化他即自行

今、日蓮は去又ル建長五年四月廿八日より今年弘安三年十二月にいたるまで二十八年が間又侘事なし只、妙○經の七字五字を日本国の一切衆生の口に入れんとはげむ計り也。此れ即母の赤子の口に乳を入れんとはげむ慈悲也。(讀曉八幡抄縮2034)

のいちばんの大事なこと即ち「化他即自行」を実施したいものです。「自行若満必有化他」という語があります。「ジギョウ、ニヤクマンヒツツウケタ」と読みます。即ち、自分の修行が増進してくると、必ず、その修行は「ヒトをタスケル」という形になって、ひとりで法華經の御本意に叶うところの菩薩行になるというのが、この語の意味

ですが、リクツではたしかに、そうなりますが、若し一生かゝって「若満」しなかつたら、二乗と同じように、化他行のない自分だけの修行で終わってしまうという事にもなりかねません。ですから、末法における法華經の信心というのには「化他が自行なのだ」という心で修行せねばならないというのが、「化他即自行」の意味です。いつも第一に御弘通という

事を念って日々の口唱信行に怠りなきようにするのが「化他即自行」であります。開導聖人は「妙○經の極意は、人を助けんと行すれば我身たすかると云ふ菩薩行也。是即此經の御本意也」(仏立要談)と御指南下されてあります。又、「人を助けんと思ふ口唱がかへって我身の為となる也」(十巻抄)「化他即自行」をしつかりと実践させて頂くことが肝心です。